

様式1 平成25年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	美濃加茂市	学校名	美濃加茂市立三和小学校			
校長名	水口 悟	対象学年	全学年	人数	26名	
活動名	ホタル保護活動		時間数	20時間	継続年数	37年
題材	① 自然環境（その他） [ホタル]					
複数年継続するための工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> ○地域のホタルを守る会と連携して、ホタル保護活動の意義、ホタルの飼育の仕方等について指導し、ふるさとでの自然を守ろうとする意識を高めた。 ○計画的に餌となるカワニナの採集を児童・教職員で実施し、研究室での生存率を高めた。 ○ホタル保護活動を通して学んだこと、地域等に発信したいこと等を表現する場を位置付けた。（学習発表会、今後PRのためのうちわ、カルタ、ファイル制作など） 					
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三和町の宝であるホタルを守る活動を通して、命の尊さ、環境保全の大切さを学ぶ。 ・ホタル保護活動を大切に続けてきた地域の人々の喜びや苦勞を受け止め、いつまでもホタルが飛び交う町づくりに貢献し、ふるさとに自信と誇りを育む。 <p>2 活動の概要</p> <p>昭和43年8月の集中豪雨により三和町ゲンジボタルが絶滅の危機に直面したのを受け、昭和45年に有志によって「三和町ホタル保存会」が結成された。昭和51年当時の校長が、学校も地域の願いに協力して心豊かな人間性を育てようとホタル飼育池をつくりホタルの保護活動を開始した。昭和63年新校舎落成に伴いホタル研究室を設置し、ホタル活動を学校の教育活動の柱に位置付け地域・保護者とともにゲンジボタルの保護活動を継続している。今年度で37年目を迎える。</p> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子 [地域住民との関わり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川掃除 地域住民は、ホタルが飛翔する頃に一斉に川岸の草刈り等を行う。児童と保護者は、年間2回川掃除を行っている。第1回（4月）は学校付近の川浦川を掃除し、第2回（10月）は、川浦川及び甘屋川の各地域に分かれ掃除する。地域ぐるみでホタルが飛び交う環境を守ろうとする意識を高めている。 ・カワニナ養殖場の環境整備 「ホタル保存会」は、毎年6月末にカワニナ養殖場の環境整備を行い、カワニナの数を増やすことに努めている。この環境整備に、児童及び保護者が参加し草刈り・花壇作り等を行っている。児童は、作業の後、養殖したカワニナを持ち帰り、自宅付近の川に放流している。 <p>[地域社会への社会貢献]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホタル幼虫上陸観察 5月中旬、幼虫は土繭をつくるために川岸に上陸する。ホタルを守る会会長さん指導のもと、児童と保護者は、幼虫の上陸観察を行う。暗くなってから、懐中電灯を手にしながら幼虫を探す体験は、本校ならではのことである。 ・飛翔観察及びホタル保護の呼び掛け 6月初旬、児童は地域ごとのグループに分かれ、教師・保護者とともにカウンターを手にしながら飛翔するホタルを数える。毎日の児童が数えた各地域の飛翔数は、美濃加茂市ホームページに掲載され、市外や県外からの来訪者への情報提供となっている。また、来訪者に対して、ホタル観察のマナー等の呼びかけを行っている。 <p>[ホタルの幼虫の飼育及び放流]</p> <p>毎年6月末に、ホタル保存会の方と学校職員が親ホタルを捕獲し産卵の準備を行う。幼虫が孵化した後、一年を通してホタル委員会が中心となり世話をする。年間に2回、ホタル集会を開催し、無事に育ち成長した幼虫が成虫となって飛翔することを願いながら放流を行っている。</p> <p>[ホタル保護活動の発表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホタルコンサートを20年間継続し、ホタル保護の様子を地域住民や参加者に発信している。しかし、ホタルコンサートは、平成21年度で終了となった。平成22年度は、第30回豊かな海づくり大会みのかもサテライト会場となり、学習の成果を発表した。 ・毎年の学習発表会では、ホタル委員会が中心となり、ホタル保護活動の様子やホタルに関するクイズを発表している。 <p>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつまでもホタルの飛び交う故郷であることを強く願い、伝統のあるホタル保護活動に取り組んでいる。また、ホタル俳句を作成するなど、故郷のよさをPRする活動も行っている。 ・ホタルの幼虫が孵化し、たくさんの幼虫が生まれたときには、カワニナの稚貝を意欲的に採集したり水盤の水替えなどの当番活動を丁寧に行ったりした。 ・ホタルの集いでは、飛翔観察の途中結果を報告し合いながら、今年もたくさんのホタルが飛翔していることや多くの来訪者が三和を訪れていることを知り、故郷のよさを実感している。 <p>【児童の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホタルの幼虫はすごく大きく成長していました。今回は、約1000匹の幼虫を放流しました。私は幼虫を放流するとき「来年もたくさんのホタルが飛んで、たくさんの人にきれいだと言ってもらいたい。」と思いました。これからも大切に幼虫の世話をしていきたいです。 						